

「資料」

神山復生病院所蔵のハンセン病関係新聞記事目録

－朝日新聞を中心に－

平田勝政（長崎大学大学院教育学研究科）

はじめに

本目録は、静岡県御殿場市に現存する神山復生病院（1889年設立）の第6代目院長である岩下壮一（1889～1940）の「救癩」思想を研究する基礎資料として作成されたものである。筆者は、「社会事業史研究」第49号（2016年）において、輪倉一広著『司祭平服と癩菌－岩下壮一の生涯と救癩思想－』（吉田書店 2015年）を書評したが、岩下の「救癩」思想が集約されている講演記録「祖国の血を浄化せよ」の解釈と適切な評価をしていく上で、その前提となる事実関係の把握が不十分であることに気づかされた。この「らい予防デー」の講演記録には、1935年6月25日（初出段階）と1937年6月25日（修正加筆段階）の2つがあり、先行研究はその異同に無自覚なまま分析・評価をおこなっている点に問題がある。1935年と1937年の各段階における岩下のハンセン病問題認識をふまえた検討のためには、岩下が「東京切抜通信社」に依頼して全国情報を収集し、選び残した新聞記事のスクラップブック（1930～37年）に注目する必要がある。筆者は、2016年の7月と9月の2回にわたり、神山復生病院においてスクラップブック（原本本1冊→閲覧用4分冊）と未整理記事を調査・収集した。整理・目録化した結果、総数1163件（A4版40頁）となった。本目録は、記事数で全体の約3分の1を占め全国規模（植民地を含む）でもある朝日新聞系（東京朝日新聞・大阪朝日新聞）の記事（386件）を4分冊の順に、また各頁の上から下への順で整理したものである。年月日の不揃いはそのためである。備考欄の1－1は第1分冊の1頁を、「補1～6」は未整理記事の6頁分を意味する。

本目録の作成にあたり、ご協力いただいた神山復生病院の秋本福子理事と同復生記念館の森下裕子学芸員に記して感謝いたします。なお、全1163件の総目録（全40頁）は、2017.1.27案として神山復生病院に寄贈している。

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
1	2	レゼー翁の病氣小康を保つ、白根知事から見舞の電話	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 9	1-1
2	4	未明の頃から荒水をかむり、復生病院長レゼー翁の恢復に祈願する患者達／癩病取締り法案を政府へ建議する矢先、逝くのは残念だとレ翁嘆く／七日朝来から元氣恢復	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 10	1-1
3	5	皇太后陛下より見舞品御下賜、レゼー翁の病床に御使を差遣遊ばされて	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 10	1-1
4	6	自分が天国に旅立てばレゼー男爵家は廃絶、病床の翁沈着の態度で語る／復生病院の財政後援計画、レゼー翁の重態について内務省も重大視	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 11	1-1
5	7	レゼー翁重態に陥る、病院関係者かけつける	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 14	1-2
6	8	レゼー翁重態を推して礼拝、患者涙を流して祈たうを仰ぐ劇的シン現出／レゼー翁の事跡を収集	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 8. 15	1-2
7	9	レゼー翁小康	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 16	1-2
8	11	レゼー翁に藍綬褒賞御下賜、県より御さた伝達	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 8. 17	1-2
9	12	重態の復生病院長に藍綬褒賞を下賜さる	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 19	1-2
10	13	レゼー翁への恩賞、畏くも夜中御裁可、天恩の廣大にいづれも感激	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 8. 20	1-2
11	14	レゼー翁感激、藍綬褒賞伝達	東京朝日新聞	1930(S. 5). 8. 21	1-2
12	15	レゼー翁の徳に対して財政援助の企て、関屋次官を総裁に推して全国的に病院維持費を募る／賀川氏も加はり全国巡回講演を催す／「真理の本源」を脱稿す	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 8. 21	1-2
13	16	復生病院の後援会協議	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 9. 11	1-3
14	17	復生病院後援会来月発会式を	東京朝日新聞	1930(S. 5). 10. 8	1-3
15	18	復生病院後援会、総裁に関屋宮内次官、近く全国に同情喚起の運動	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 10. 12	1-3
16	19	レゼー翁重態	東京朝日新聞	1930(S. 5). 11. 1	1-3
17	20	気候の激変からレゼー翁遂に逝く／重なる光榮に厚き御見舞も賜りて	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 11. 4	1-3
18	21	翁生前の事績／遺言書により後任も決定／翁も感謝した後援会／各方面へ報告／知事の弔電／憂色に包まる復生病院	東京朝日新聞	1930(S. 5). 11. 4	1-3
19	22	レゼー翁の葬儀、けふ執行	東京朝日新聞	1930(S. 5). 11. 5	1-3
20	23	レ翁の葬儀、本日執行／安達内相から弔詞花環贈呈	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 11. 5	1-3
21	25	レゼー翁の葬儀、きのふ厳かに執行／後継院長は岩下壮一氏	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 11. 5	1-3
22	26	神山復生病院に勤続の功績者三名を内申、皇太后陛下の有難き御さたに基いて事務員一名と看護婦二名	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 11. 9	1-3
23	28	岩下復生病院長出県【写真入】	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 11. 11	1-4
24	29	全国らい療養所に皇太后陛下の御仁慈、御下賜金廿四万円／光榮の療養所／表彰者	「東京朝日新聞」第15994号(夕刊)	1930(S. 5). 11. 11	1-4
25	30	皇太后陛下の御仁慈に感激の神山復生病院、鈴木県社会課長謹話／有難き極み、楠幹事の談【写真入】	東京朝日新聞(静岡版)	1930(S. 5). 11. 11	1-4
26	37	『レプラの島』からウェード博士来る、日本の各修養書を訪ねて温い慰問と視察	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 3. 24	1-5
27	38	ウェード氏、らい患者慰問に来訪	東京朝日新聞	1931(S. 6). 3. 24	1-5
28	46	レプラ患者の乗車騒ぎ、関西線で大消毒実行に移る、癩病患者予防救護問題で東本願寺信徒を総動員	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 4. 11	1-6
29	76	外島癩療養院拡張具体案成る、本年度から四年継続で十二府県の分担金	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 6. ?	1-10
30	89	レプラ患者の列車、あす富山から岡山へ運転、珍らしい鉄道サービス	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 6. 26?	1-11
31	90	癩療養院拡張決定	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 6. 10	1-11
32	101	外島療養院移転陳情、柴田大阪府知事へ／癩を根絶せよ、知事も弁じた基金募集講演	大阪朝日新聞 第17827号	1931(S. 6). 6. 28	1-12
33	110	(問) 弟の結婚について／(答) らいは遺伝病ではない	東京朝日新聞	1931(S. 6). 7. 22	1-13

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
34	113	審判所で保護中の一少年を去勢す、その性的狂暴性矯正のため思ひ切った保護処置／『法さへあれば去勢もよい』親達の処置を黙認しただけ、鈴木所長等語る	「朝日朝刊」	1931(S. 6). 8. 20?	1-14
35	123	業病の薬にと少年の肉、学校帰りを殺して持帰る、迷信の生んだ犯罪 *広島県	東京朝日新聞	1931(S. 6). 8. 28	1-15
36	127	十八万円余、癩予防協会の基金募集状況	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 9. 10?	1-15
37	136	癩菌の純粋培養	大阪朝日新聞 第17954号	1931(S. 6). 11. 3	1-16
38	138	台湾から *テーラーの癩病院設置への反対運動	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 11. 24	1-16
39	139	子を背負って旭川に投身、業病を悲しみ	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 12. 29?	1-16
40	142	結核、癩予防の内務省案成る	大阪朝日新聞 第17958号	1931(S. 6). 11. 7	1-17
41	147	愛生園から癩患者脱走、男女七名が小舟で	大阪朝日新聞	1931(S. 6). 12. 10	1-17
42	153	リデル女史、らい患者の救世主逝く【顔写真入】	東京朝日新聞	1932(S. 7). 2. 9	1-18
43	155	珍妙に武装して癩患者の大乱闘、朝鮮慈恵病院の騒ぎ	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 1. 29	1-18
44	165	癩患者には業務を禁止、接客業などにつき家族には生活費補給	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 2. 4?	1-19
45	172	病魔の闇から光明の社会へ！癩療養所の出生児を隔離哺育の新試験	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 4. 4?	1-20
46	176	恵みの貯金箱	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 4. ??	1-20
47	177	全世界を動かした一少年の美しい人間愛、豚の貯金箱を買へ！癩患者を救へ！美しい心は救ひを呼ぶ！	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 4. ??	1-20
48	186	社会事業聯盟のリデル慰霊祭、熊本市公会堂で	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 6. 10	1-21
49	207	療養設備不足の台湾の現状—結核・癩・精神病—逐年ふえていく	大阪朝日新聞	1932(S. 7). ?. ?	1-23
50	213	名医大が業病撲滅に乗出す、特別治療室を建設	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 8. ??	1-24
51	228	皇太后陛下の御仁慈、私設らい療養所と予防協会へ、御下賜金を賜はる	東京朝日新聞	1932(S. 7). 11. 11?	1-26
52	232	日本癩学会 *第五回	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 11. 10	1-26
53	238	血液型から観た癩病と遺伝の関係、大島療養所で調査の結果、学界に投げる—暗示	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 11. 11	1-27
54	242	癩救療事業の関係者を本社招宴	大阪朝日新聞	1932(S. 7). 11. 13	1-27
55	310	レプラ患者列車を止める、昨夜北陸線で	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 3. 2?	1-35
56	314	悪血の恐怖、母子死出の途へ	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 3. 5?	1-35
57	316	台湾全島の警務部長会議、癩予防策協議	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 3. 15	1-36
58	329	花見列車にレプラ患者、岐阜から京都へ、車中で発見大さわぎ	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 4. 18	2-1
59	333	若いスポーツ医学士が癩患者に奉仕、尊い父の犠牲から愛生園入り	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 5. 6	2-1
60	335	救癩運動、MTLの宣伝	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 6. 17?	2-1
61	336	癩患者の賭博	東京朝日新聞	1933(S. 8). 5. 11?	2-1
62	338	癩患者の福音、特効注射薬を発見、初期なら必ず全治、長崎医大高瀬・田中両氏の偉業	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 3. ??	2-2
63	343	癩菌の培養に九分九厘成功、学界の謎を解くか廿九名の若き学徒 *長島愛生園・杉本徹氏	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 5. 4?	2-2
64	347	台湾癩予防協会、愈よ設立へ	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 5. 13	2-2
65	349	天刑病者の迷信、女の轢死体盗まる／行方捜査中の婦人、子供の無いのを悲観してか	東京朝日新聞 (信濃版)	1933(S. 8). 5. 18	2-3
66	351	らい患者救済に有難き御下問、けふ沼津に「救済の夕」	東京朝日新聞 (静岡版)	1933(S. 8). 5. 23	2-3
67	355	癩予防講演、けふ堺錦校で	大阪朝日新聞 (府下版)	1933(S. 8). 6. 1	2-3
68	356	学界の謎『肺癩』実在付止らる、従来の学説を見事に覆して、若き医官の研究 *田尻医官	大阪朝日新聞 (岡山版)	1933(S. 8). 5. 12	2-3

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
69	359	箕面の山中に業病患者の死	大阪朝日新聞(府下版)	1933(S. 8). 6. 13	2-4
70	360	八県聯合になる大島の療養所、愈よあす落成式	大阪朝日新聞(徳島版)	1933(S. 8). 6. 15	2-4
71	364	救癩運動、MTLの宣伝	大阪朝日新聞(府下版)	1933(S. 8). 6. 15	2-4
72	366	癩予防講演会	大阪朝日新聞(熊本版)	1933(S. 8). 6. 22	2-4
73	368	癩予防令、九月ごろ発布	大阪朝日新聞(朝鮮版)	1933(S. 8). 6. 21	2-4
74	372	レプラ予防講演映画会	大阪朝日新聞(鳥取版)	1933(S. 8). 6. 18	2-4
75	373	国境を越えて美しい友情、シヤムの癩療養所長がわが長島療養所長を訪ねて感激	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 6. 21?	2-5
76	374	癩、結核の療養所を拡充、内務省衛生局新予算計上	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 6. 28?	2-5
77	375	「癩」は遺伝でなく伝染病だ、廿五日の予防デーに関し加茂県衛生課長談	大阪朝日新聞(福井版)	1933(S. 8). 6. 26	2-5
78	379	レプラは伝染だ、初発に手当すれば容易に全治する	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1933(S. 8). 6. 26	2-5
79	385	皇太后陛下、お名残惜しくもけふ還啓 * 田中知事の謹話中に神山復生病院あり	東京朝日新聞(静岡版)	1933(S. 8). 4. 8?	2-6
80	389	波乗り越えて印度へ、『友情義足』を送る、癩患者の国際親善	大阪朝日新聞	1933(S. 3). 7. 7?	2-7
81	390	石井漢氏一行、長島癩療養所へ	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 7. 8	2-7
82	402	療養所予算、本県の負担、二万五千元	大阪朝日新聞(長崎版)	1933(S. 8). 7. 21	2-8
83	403	佐世保海兵団にレプラ患者、部内を大消毒	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 7. 28	2-8
84	404	「らい病は治る」と京大で真剣な研究、研究所設立を請願/オルガノゾルの注射薬、堀場博士語る	東京朝日新聞	1933(S. 8). 7. 19	2-8
85	405	九州療養所廿五周年記念式	大阪朝日新聞(熊本版)	1933(S. 8). 7. 14	2-8
86	406	らい患者の赤ちゃん収容所、世界に始めての施設、いよいよ八月中に完成	東京朝日新聞	1933(S. 8). 7. ??	2-8
87	409	東京から下関まで、癩患者の汽車旅、しかも満員の急行列車で	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 7/8. 22	2-8
88	413	スキヤキとおけさで鮮かな学生外交、国際キャンプ代表帰る * クリオン島の邦人患者3名を慰問	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 8. 1	2-9
89	415	癩刑務所設置	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 9?. ?	2-9
90	418	レプラ列車、三等貸切で朝鮮人スリ押送、岡山の病院へ収容	東京朝日新聞(神奈川版)	1933(S. 8). 9?. 1	2-10
91	421	五千人を喜ばず、らい患者へお茶の贈物	東京朝日新聞(静岡版)	1933(S. 8). 9. 1	2-10
92	422	癩患者保護、設備完成を急げ	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 6. 5?	2-11
93	427	話題の人・村田院長の輪郭、純情一徹気性【顔写真入】	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 9. 6	2-12
94	428	退去事件のほか意外の方面追及、村田外島保養院長の調べ、前後十二時間・今晚に及ぶ	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 9. 6	2-12
95	430	癩の療養所の増設・拡張	東京朝日新聞	1933(S. 8). 9. 4?	2-12
96	433	まづ愛と理解、お金も勿論ほしい、天刑病の予防について	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 9. 6	2-13
97	434	復帰患者はバラックへ収容、その後の外島問題	大阪朝日新聞	1933(S. 8). 9. 12	2-13
98	435	癩患者二百六十名が花々しく楽園入り、廿八日貨物船で小鹿島へ	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1933(S. 8). 9. 13	2-13
99	436	山陰線列車内にレプラ患者、車掌が発見、下車させて天田病院へ収容	大阪朝日新聞(京都版)	1933(S. 8). 9. 8	2-13
100	437	問題の癩患者、夜中逃走す、梅毒だとの遺書を残して天田病院びっくり	大阪朝日新聞(府下版)	1933(S. 8). 9. 10	2-13
101	443	外島保養院、聯合府県協議、新予算上程	大阪朝日新聞(京都版)	1933(S. 8). 10. 1	2-13
102	444	癩予防協会寄附金、非常の好成績、百廿二万円にも上る	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1933(S. 8). 10. 6	2-13

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
103	446	村田保養院長の後任、白羽の矢、原田博士に	大阪朝日新聞	1933(S. 8).10. 5	2-14
104	448	癩は骨格を蝕む、定説を覆し治療上に光明、篤学の林新医博の研究	大阪朝日新聞	1933(S. 8).10.17	2-14
105	451	せめてラヂオで声が聞きたい、「慈父」村田氏を送った外島の人々の願ひ	大阪朝日新聞(府下版)	1933(S. 8).10.10	2-14
106	453	大島療養所で演劇慰安の夕べ	大阪朝日新聞(香川版)	1933(S. 8).10.2?	2-14
107	454	癩の悩みへ、朗らかな光明、ワクチン予防注射の完成!長島療養所愛生園長、光田氏の研究/正式発表を待つ(村田前外島保養院長談)	大阪朝日新聞	1933(S. 8).10.12	2-15
108	461	癩治療に福音、軽患者には美食が良い、長島療養所の田尻氏が発見	大阪朝日新聞	1933(S. 8).10.2?	2-16
109	462	南海に生れ出る癩患者のパラダイス、院長周防さんの新抱負	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1933(S. 8).10.29	2-16
110	464	皇太后陛下より、神山復生病院へ下賜金	東京朝日新聞(静岡版)	1933(S. 8).11. 1	2-16
111	465	けふみめぐみの日、乙女らの胸に救癩のこころを、京阪神の全女学校に呼びかける関西MTL	大阪朝日新聞	1933(S. 8).11.11	2-16
112	469	レゼー神父が修身の教材に、死の床に見を起し藍綬褒章を拝受、『私はフランスの武士です』【写真真入】	東京朝日新聞	1933(S. 8).12. 1	2-17
113	470	友人はだしたゾ、大島療養所のお芝居	大阪朝日新聞(香川版)	1933(S. 8).11.4?	2-17
114	471	恵まれぬ少年に朗らかな喜び、岡山長島の愛生園に少年団誕生	大阪朝日新聞	1933(S. 8).11.24	2-17
115	476	純愛に擲つ青春、結婚解消して世捨島へ、返り咲く白衣の天使*溝淵昌子さん【写真真入】	大阪朝日新聞	1933(S. 8).12. 2?	2-17
116	481	癩患者の母のかがやく遺徳、故リデル女史を追慕する、匿名の献金者判る	大阪朝日新聞	1933(S. 8).12.28	2-18
117	482	気の毒な人々に捧げる『労働奉仕』、療養所を遍歴の新谷氏、長島で祈りの叶ふ日を待つ	大阪朝日新聞(岡山版)	1933(S. 8).12.20?	2-18
118	483	浮浪癩者の群が全南へ押し寄す、小鹿島の楽園入りを希望して、全南当局は大弱り	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1933(S. 8).12.28	2-18
119	484	困った無賃客、レプラ患者	大阪朝日新聞	1933(S. 8).12.28	2-18
120	485	宮中のお慶びを不幸な人々へ、内大臣から復生病院へ贈物	東京朝日新聞(静岡版)	1933(S. 8).12.28	2-18
121	490	宿命の人々へ、読書の糧、少年時の感動を忘れず慰安を捧げる長崎氏	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 1.12	2-19
122	491	癩は伝染病を実験で証明、菌の動物移植に成功、治療薬の比較研究にも光明、	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 1.10?	2-19
123	493	大島内務省衛生局長談	大阪朝日新聞(徳島版)	1934(S. 9). 1.12	2-19
124	495	殖えゆく癩患者、救済の道が開かる	大阪朝日新聞(鹿児島沖繩版)	1934(S. 9).1/2.23	2-20
125	499	「癩の母」に捧ぐる感謝、リデル女史胸像成る	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 2.20?	2-20
126	501	癩患五名逃走、大島療養所	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 3. 9	2-20
127	502	列車に癩患者	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 3. 6	2-20
128	503	薄命を慰めあふ、春に描く国際友愛、愛生園からのプレゼントにノルウェー人形のお礼	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 3.17	2-20
129	505	レプラ患者が運転手だった、取締り法規の不備から交通課で慎重考慮	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 3. 2	2-20
130	511	癩患者に福音、的確な早期診断法を、九大の皆見、引地両博士が発見	大阪朝日新聞(北九州版)	1934(S. 9). 4.18	2-21
131	512	要望さるる癩療養所の設置、西北鮮の衛生保全に	大阪朝日新聞(朝鮮西北版)	1934(S. 9). 4.22	2-21
132	513	警察へ癩病患者、脱走はしたけれど	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 4.29	2-21
133	514	感激の鍵盤、外島保養院で、ビー女史演奏	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 5. 5	2-21
134	515	総監から感謝状、癩予防協会	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1934(S. 9). 4.18?	2-21

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
135	517	青春を擲って、愛の施療に、九州から岡山の愛生園へ、青年歯科医 *上尾登氏【顔写真入】	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 4. 22	2-22
136	518	内務省の指示事項、地方長官会議 *「らい予防に関する件」あり	東京朝日新聞	1934(S. 9). 5. 1?	2-22
137	520	恵まれぬ人々に力強く愛を説く、外島保養院と本社を訪問した印度のサントラ博士	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 4. 11	2-22
138	521	候補地鹿屋の癩療養所、新設の見込みなし、永田代議士から飛電	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 5. 5	2-22
139	525	らい患者脱走、全生病院から	東京朝日新聞(府下版)	1934(S. 9). 5. 15	2-22
140	527	癩患の福音、服用し易い丸薬を頒つ	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1934(S. 9). 4. 23	2-22
141	528	麗し・人間愛の旋律、外島保養院の患者たちに、三楽人が慰めの演奏	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 4. 29	2-22
142	529	癩患者の氾濫、宮古療養所が渡航阻止を依頼、収容人員超満員で	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 4. 26?	2-22
143	530	長島愛生園の納骨堂落成式、本願寺裏方参列	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 5?. 14	2-22
144	532	闇に喘ぐ宿命患者を光りの彼方に導く「白衣の天使」を誓ふ若き女性、関東から遙々九州療養所へ	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 5. 18	2-23
145	534	国立癩療養所、山川に設置決定、大島衛生局長から発表さる	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 5. 13	2-23
146	535	暗い生活へ贈る、童心こもる鯉幟、世界の癩療養所の少年達へ、長島愛生園から「	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 5. 7	2-23
147	536	山川町に癩療養所、候補地として有力視さる、町当局は寧ろ静観	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 5. 11	2-23
148	538	京大癩研究所、藤田政輔氏の好意で愈よ設立の運び	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 5. 17	2-23
149	539	愈々有望視さる大始良村の国立癩療養所、水質検査の結果	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 5. 28	2-24
150	540	鹿屋も脈がある、国立癩療養所問題	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 5. 20	2-24
151	541	御心に感泣し皇太后陛下へ復生病院の映画献上、岩下院長謹んで語る【写真入】	東京朝日新聞(静岡版)	1934(S. 9). 5. 25	2-24
152	542	皇太后陛下の御仁慈、楓樹の苗を拝受して感泣にむせぶ愛生園	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 5. 30	2-24
153	546	国立癩療養所、大始良村に設置有望、草間防疫官来県視察	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 5. 23	2-24
154	547	国立癩療養所は大始良へ、郡山部長帰来談	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 5. 25	2-24
155	550	教化事業映画会	東京朝日新聞(静岡版)	1934(S. 9). 6. 20?	2-24
156	551	薄幸の子等に光あれと祈る女性、一身を捧げて神山復生病院に入った保母・鈴木はるさん【写真入】	東京朝日新聞(静岡版)	1934(S. 9). 6. 7	2-25
157	553	保養院を脱出、箱乗り稼ぎ、レブラ患者に手錠	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 6. 6?	2-25
158	555	癩予防週間二十二日から *「第二回癩予防週間」	東京朝日新聞(静岡版)	1934(S. 9). 6. 17	2-25
159	557	南支から寄す美しい童心の友情、長島愛生園の幼き患者に、「子供の国」建設に五百余円	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 6. 22	2-25
160	558	「癩を無くせよ、祖国を潔めよ」	大阪朝日新聞(宮崎版)	1934(S. 9). 6. 20	2-25
161	559	宮古癩療養所、移転を陳情	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 6. 13	2-25
162	560	国立癩療養所候補地視察、大始良村の三ヶ所、決定次第年内に工事完成	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 6. 16	2-25
163	561	癩予防デー講演と映画	大阪朝日新聞(香川版)	1934(S. 9). 6. 24	2-25
164	563	国立癩療養所、土地買収の地価等級を査定し、地主との交渉開始	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 6. 22	2-25
165	564	監視人の隙にレブラ患者逃ぐ、天田伝染病院から	大阪朝日新聞(京都版)	1934(S. 9). 6. 19	2-25
166	567	(社説) 癩救療事業の根本施設、愛生園事件の暗示	大阪朝日新聞	1936(S. 11). 8. 24	2-25

No.	全No	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
167	569	塵箱から贈る珠玉の慰問金、西大寺の老ルンペンが国立癲療養所の子供らに	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 6. 28	2-26
168	570	三井報恩会へ、援助申込み殺到 * 「癲治療研究所」あり	東京朝日新聞	1934(S. 9). 6. 25	2-26
169	572	癲予防講演会 * 徳島県	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 7. 2	2-26
170	575	国境線を越えて病床作品を交換、愛生園が世界に呼びかけ今秋は展覧会の計画	大阪朝日新聞(岐阜版)	1934(S. 9). 7. 20	2-26
171	576	蛇の毒液療法	東京朝日新聞	1934(S. 9). 7. 31	2-26
172	479	何処でも嫌やな顔、行塞りの癲病院、思案投首の京大化学研究所、既に四ヶ所で反対論	大阪朝日新聞(府下版)	1934(S. 9). 7. 5	2-27
173	584	北部癲療養院を国営に請願、関係道県の負担内定	東京朝日新聞(青森版)	1934(S. 9). 8. 12	2-27
174	586	国立癲療養所の土地買収終了、来年度から患者収容、工事は直ちに着工	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 8. 22	2-27
175	587	恵みのお茶【写真入】	東京朝日新聞(静岡版)	1934(S. 9). 8. 28	2-27
176	589	長島神社建立に悲願八百患者の奉仕、光明皇后を祀り奉る愛生園	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 8. 26	2-27
177	591	逃げたか癲患者、列車只乗り	大阪朝日新聞(名古屋版)	1934(S. 9). 8. 11	2-27
178	592	レブラ患者途方に暮る	東京朝日新聞(青森版)	1934(S. 9). 8. 26	2-27
179	593	国立癲療養所敷地買収に本省から来鹿児島	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 8. 14	2-27
180	596	癲療養所、本県負担、一万九千二百四円割当	東京朝日新聞(福島版)	1934(S. 9). 8. 12	2-28
181	597	レブラ患者七名脱走す	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 8. 16	2-28
182	604	レブラ男女、全生病院脱出	東京朝日新聞(府下版)	1934(S. 9). 9. 1	2-28
183	606	昼飯時に飛んだお客、レブラ患者の収容陳情	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1934(S. 9). 9. 26	2-28
184	607	島に光る人類愛、大島療養所収容の子弟にも卒業證書、庵治村当局の英断	大阪朝日新聞(香川版)	1934(S. 9). 8. 30	2-28
185	610	高島重孝：癲医の独白(一)	東京朝日新聞 第17381号	1934(S. 9). 9. 9	2-28
186	612	高島重孝：癲医の独白(二)	東京朝日新聞 第17382号	1934(S. 9). 9. 10	2-29
187	613	高島重孝：癲医の独白(三)	東京朝日新聞 第17383号	1934(S. 9). 9. 11	2-29
188	615	災害地の衛生対策、外島療養所は他へ移す	東京朝日新聞	1934(S. 9). 9. 27	2-29
189	616	縄の木から激浪へ、ボトンボトンと落ち溺死、宿命の人々・宿命の最後、全滅の外島療養院	東京朝日新聞 第17394号	1934(S. 9). 9. 22	2-29
190	620	外島の生存者、各地に分散収容、長島と大島へ百名	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 9. 26	2-29
191	624	癲療養所脱走者と判る、京大助教授宅へ入った犯人	大阪朝日新聞(京都版)	1934(S. 9). 9. 16	2-30
192	626	岡山の愛生園へ、村浄化の捨石に、癲患者一団が移住、対島村から十一名	東京朝日新聞(静岡版)	1934(S. 9). 9. 19	2-30
193	629	一村の患者十一名、進んで愛生園へ、村を永遠に浄化するため、悲痛な覚悟をして…	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 9. 19	2-30
194	632	生地獄、外島の患者を慰問、本社救護班の活躍	東京朝日新聞 第17395号	1934(S. 9). 9. 23	2-30
195	633	下村海南：風害断層①	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 9. 27	2-31
196	634	外島療養院の復興	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 10. 9	2-31
197	638	外島の癲患者、全部姿を消す、各地療養所へ委託	大阪朝日新聞	1934(S. 9). 10. 23	2-31

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
198	643	癩治療に光明、脳梅毒には決定的効果、長崎医大高瀬博士の功績	大阪朝日新聞	1934(S. 9).10.25	2-32
199	647	レブラ学校、沖縄の癩保養院に設置	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9).12.22?	2-32
200	648	十坪住宅一棟、愛生園へ寄附	大阪朝日新聞(名古屋版)	1934(S. 9).12.23	2-32
201	649	国境を越えて友愛の義足、長島愛生園の患者さん達が遠くインドの同病者へ	大阪朝日新聞(岡山版)	1934(S. 9).10.30	2-32
202	650	盛大にきのふ地鎮祭執行、国立癩療養所	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1934(S. 9). 1.15	2-32
203	651	第七回癩学会、十五、六日、岡山にて	大阪朝日新聞	1934(S. 9).11. 3	2-32
204	652	苦心十年の賜、病毒不感染児養成に成功、歓びの大島療養所	大阪朝日新聞(香川版)	1934(S. 9).10.31	2-32
205	657	群馬を廃娯県に、八十八の「生仏医者」	東京朝日新聞	1934(S. 9).11. 4	3-1
206	658	レブラ患者の嘆願書、優遇されたいと	大阪朝日新聞(京都版)	1934(S. 9).12?.13	3-1
207	662	復旧の目鼻つかず、浮かばれぬ外島保養院、地元民の再興反対に加へて、仮屋建設の補助も出ぬ	大阪朝日新聞	1934(S. 9).11.24	3-1
208	663	癩病は癒る、癩菌全く絶滅して療養所を出た青年	大阪朝日新聞(佐賀版)	1934(S. 9).12. 7	3-1
209	664	運命の子らを護る、大島療養所内の保育所、近く喜びの落成式	大阪朝日新聞(香川版)	1934(S. 9).12. 9	3-1
210	668	下村海南：合点の行かぬ事(中)村山全生病院	東京朝日新聞	1935(S.10). 1. 9	3-2
211	669	下村海南：合点の行かぬ事(下)村山全生病院	東京朝日新聞	1935(S.10). 1.10	3-2
212	674	わが国初めてレブラ患者の刑務所、全南小鹿島の更生園内に療養がてらの別荘	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1935(S.10). 1.17	3-2
213	675	浮浪の癩患者、四国中に二百名、それを悉く收容しようと大島療養所の拡張	大阪朝日新聞(愛媛版)	1935(S.10). 1. 9?	3-2
214	676	大島療養所、拡張の計画、浮浪患者四国に二百名、野島所長の抱く理想	大阪朝日新聞(徳島版)	1935(S.10). 1.11	3-2
215	683	畏し御仁慈、『寒い土地柄ゆえ、尚患者を勞れ』中條保養院長謹話	東京朝日新聞(青森版)	1935(S.10). 1.24	3-3
216	686	慶福会の助成金、本県の五団体を選奨	東京朝日新聞(静岡版)	1935(S.10). 2.10	3-3
217	687	恵まれぬ患者群が南海に築く楽園、今秋までに四千近く收容し、自給自足の小鹿島	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1935(S.10). 2.14	3-3
218	699	救癩の念に燃え、“愛国慈善切手”を提唱、長島愛生園で全国へ呼びかく	大阪朝日新聞	1935(S.10). 2. 7?	3-5
219	702	今度こそは癩療養所を設置、絶滅を期す沖縄県	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 2.19	3-5
220	703	京都市立病院を、夜な夜な脱出、患者四名の電線泥棒 *レブラ患者四名	大阪朝日新聞	1935(S.10). 2.26	3-5
221	704	レブラ患者救護所脱走	大阪朝日新聞(長崎版)	1935(S.10). 2.26	3-5
222	711	外島保養院の移転を言明、建議委員会で内務当局から	大阪朝日新聞	1935(S.10). 3. 2	3-6
223	712	“祖国が気になる”と長島愛生園へ、布哇の邦人から送金	大阪朝日新聞	1935(S.10). 3. 3	3-6
224	717	外島療養所、予算可決さる	大阪朝日新聞	1935(S.10). 3.30	3-6
225	719	レブラ救済の叫び	東京朝日新聞(千葉版)	1935(S.10). 3.30	3-6
226	720	愛生園に喜びの放送、各病舎へ有線連絡	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 3. 8	3-6
227	724	外島癩療養所、岡山鴻島に移転か、地元は条件付で譲渡	大阪朝日新聞	1935(S.10). 3.27	3-7
228	730	放浪患者の取締り強行、癩予防令内容	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1935(S.10). 4.25	3-7
229	731	島民の移住補償と鴻島の価格が問題、条件さへ決まれば急速に解決、大阪外島保養院の移転/決った方針には何事も忍んで諒解、日生町漁業組合の意向	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 3.28	3-7
230	733	外島療養所移転、近く正式交渉、土田主事帰庁	大阪朝日新聞	1935(S.10). 4.14	3-7

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
231	736	瀧島移転の実現を信じて、大阪外島療養所問題で岡田衛生局長語る	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 4.18	3-8
232	739	彷徨の癩患者、福山に流れ込む	大阪朝日新聞	1935(S.10). 5.25	3-8
233	741	血の悩みを共に、東亜に捧げる友愛、各国療養所児童へ絵本を贈る、長島愛生園の美しい話	大阪朝日新聞	1935(S.10). 4.15	3-8
234	744	日本癩医学に凱歌、世界的権威者ウェード氏、“光田氏反応”に感嘆	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 6.9	3-8
235	745	癩予防デー	大阪朝日新聞(熊本版)	1935(S.10). 6.18	3-8
236	746	皇太后陛下、御仁慈の下賜、…感激の復生病院	東京朝日新聞(静岡版)	1935(S.10). 6.13	3-9
237	748	沖縄振興計画、明年度振興予算、四百六十万円要求、癩療養所設置愈よ実現	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 6.13	3-9
238	751	愈よ正式の交渉に入る、国澤大阪府衛生課長が会見、療養所移転問題	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 6.14	3-9
239	752	金子しげり：けふ全国に響く鐘の音 *本日「癩予防デー」、今年で三回目	東京朝日新聞	1935(S.10). 6.25	3-10
240	753	レブラ患者に齋らす福音、寄附で建つ第二愛知寮	大阪朝日新聞(名古屋版)	1935(S.10). 6.27	3-10
241	758	日本癩医学に凱歌、世界的権威者ウェード氏、“光田氏反応”に感嘆	大阪朝日新聞	1935(S.10). 6.11	3-10
242	761	一先づ手をひく、大阪外島療養所移転問題、幹旋役の県当局	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 6.26	3-11
243	763	癩菌伝播の研究、世界学界の謎に新指針を献ず、『鼻口の治療法』を完成した長島療養所・田尻博士	大阪朝日新聞	1935(S.10). 6.24	3-11
244	774	癩予防対策を速かに講ぜよ、沖縄県中、小学校長会議で、校長ら痛烈に叫ぶ	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 7.10	3-12
245	778	癩の功労者に、安房郡挙つて応援 *勝山町方面委員醍醐篤三郎氏	東京朝日新聞(千葉版)	1935(S.10). 7.19	3-12
246	779	外島療養所の移転復興を急げ、街頭の患者を重視して関西MTLも奮起	大阪朝日新聞	1935(S.10). 7.30	3-12
247	780	外島療養所の移転復興を急げ、街頭の患者を重視して関西MTLも奮起	大阪朝日新聞(神戸版)	1935(S.10). 7.28	3-13
248	784	早速、収容所の新築に取掛る、九十一万円で一千名標準に長島の新癩療養所	大阪朝日新聞	1935(S.10). 8.8	3-13
249	785	長島愛生園の水のSOS、収容人員千三百人	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 8.3	3-13
250	786	各地小信 *飯野牧師のお茶寄贈	東京朝日新聞(静岡版)	1935(S.10). 8.2	3-13
251	788	愈よ実測を開始、地元と交渉順調に進む、長島の癩療養所	大阪朝日新聞	1935(S.10). 8.9	3-13
252	789	長島癩療養所、今秋には起工式、建築地の測量始る	大阪朝日新聞	1935(S.10). 8.15	3-13
253	790	癩療養所の実現運動、沖縄県下に患者千名	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 8.22?	3-14
254	793	外島癩療養所、長島[岡山県下]へ移転、現在の国立愛生園の西隣、多年の懸案・急転解決へ	大阪朝日新聞	1935(S.10). 8.7	3-14
255	794	レブラの一等兵、戦友と寝食、演習招集中に発覚大騒ぎ	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 8.30	3-14
256	797	癩療養所の実現運動、沖縄県下に患者千名	大阪朝日新聞(台湾版)	1935(S.10). 8.22	3-14
257	808	愛に荣誉一擲、『宿命の人々に捧げた一生です』、長島愛生園に輝く白衣の天使 *田中定子さん【写真入】	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 6.20	3-16
258	810	豆科学 *世界の癩患者の98%が癩療養所に収容	東京朝日新聞	1936(S.11). 6.21	3-17
259	811	県下の癩患者を、衛生課で慰問投葉	大阪朝日新聞(神戸版)	1936(S.11). 6.21	3-17
260	812	癩予防運動、講演映画の会	大阪朝日新聞(京都版)	1936(S.11). 6.22	3-17
261	815	沖縄の癩患者へ、温い慰めの触手、救済資金募集のために、熊本市長夫人ら街頭へ	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1936(S.11). 6.24	3-17
262	820	内相も乗出し、癩予防講演、二十五日日比谷で *岩下壮一	東京朝日新聞	1936(S.11). 6.23	3-17

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
263	821	台湾MTL主催・本社台北通信局後援：癩に関する座談会①	大阪朝日新聞(台湾版)	1936(S.11). 6. 25	3-18
264	822	癩病を撲滅せよ、けふ癩予防デー	大阪朝日新聞(奈良版)	1936(S.11). 6. 25	3-18
265	823	癩予防座談会、きのふ京大楽友会館で	大阪朝日新聞(京都版)	1936(S.11). 6. 26	3-18
266	824	癩菌撲滅の聖戦、自宅患者の戸別訪問、療法の指導と予防の強化、二十九日まで癩予防週間	「大阪朝日新聞」第19637号	1936(S.11). 6. 26	3-18
267	827	台湾MTL主催・本社台北通信局後援：癩に関する座談会②	大阪朝日新聞(台湾版)	1936(S.11). 6. 26	3-19
268	830	癩予防の叫び、けふ「講演と映画の夕べ」	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 6. 28	3-19
269	831	小鹿島楽園へ更に千名収容、経常費十五万円要求	大阪朝日新聞(朝鮮南鮮版)	1936(S.11). 7. 7	3-19
270	832	癩患者住宅の建設費寄附、方面委員の申合	大阪朝日新聞(鹿児島沖繩版)	1936(S.11). 7. 8	3-19
271	839	恋の癩患者、敬愛園を脱走して御用	大阪朝日新聞(鹿児島沖繩版)	1936(S.11). 7. 28	3-20
272	841	深敬癩病院から男女患者脱出す、病院の冷遇？恋の道行？	東京朝日新聞(山梨版)	1936(S.11). 7. 28	3-20
273	842	各県割当額、大島療養所予算	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 7. 31	3-20
274	843	各県割当額、大島療養所予算	大阪朝日新聞(徳島版)	1936(S.11). 8. 4	3-20
275	844	網野町レプラ患者収容所竣工	大阪朝日新聞(京都版)	1936(S.11). 8. 5	3-20
276	845	国立癩療養所設置進言、一道六県聯合打合せ会	東京朝日新聞(青森版)	1936(S.11). 8. 8	3-20
277	848	県当局の熱意に救癩に乗りだす、三井報恩会遊佐調査課長語る	大阪朝日新聞(鹿児島沖繩版)	1936(S.11). 8. 9	3-21
278	853	先づみっちり癩を研究したい、土田新県衛生課長談	大阪朝日新聞(香川版)	1936(S.11). 8. 15	3-21
279	854	同盟罷業事件、愛の殿堂に汚点、愛生園が態度表明に苦慮、成行重大視さる／感情問題介在鎮撫に努む(廣瀬警察部長談)	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 8. 15	3-22
280	855	内務省に厳談だ、患者の動揺続き職員家族も避難、岡山の愛生園罷業事件／禍紋さらに拡大、清水課長直ちに東上／正式折衝は十五日から開始、要求理由を検討する	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 15	3-22
281	857	示威行進も中止、愛生園騒動一まづ平静に／内務省係員らけふ来島	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 16	3-22
282	858	興奮の鎮静を待つて調停か、納まらぬ愛生園騒動	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 16	3-22
283	859	社会、衛生両局の重複事務を調整、内務省に具体化機運	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 16	3-22
284	860	奥村理事官らに要求を訴ふ、初会見の愛生園事件／奥村理事官談／患者側の機構改革案	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 17	3-22
285	861	内輪割れから患者側軟化、愛生園事件好転す	東京朝日新聞	1936(S.11). 8. 19	3-23
286	863	患者間にリンチ、加盟を強ふる強硬患者ら、“愛生園騒動”ハリストへ	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 19	3-23
287	864	要求一蹴され、蓆旗でデモ、愛生園の紛糾拡大	東京朝日新聞	1936(S.11). 8. 18	3-23
288	868	ハリスト中止、愛生園解決か	東京朝日新聞	1936(S.11). 8. 20	3-23
289	873	けふ奥村理事官、患者側と再会見、愛生園紛議、漸く解決軌道へ	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 21	3-24
290	876	園長と事務官辞表提出	東京朝日新聞	1936(S.11). 8. 21	3-25
291	878	園長進退の件一蹴に患者側殺気立つ、不穏化の愛生園騒動	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 18	3-25
292	879	愛生園の〇れ続く妥協点を〇り当路三者間、一步前に結ばぬ焦点／救癩事業の恩人、四十年も捧げた光田園長、辞任の噂に大衝動／患者との会談けふへ持越す“自治”問題なほ纏らず	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 22	3-25
293	883	(社説) 癩救療事業の根本施設、愛生園事件の暗示	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 24	3-26
294	886	写真説明 *九州癩療養所の礼拝堂落成【写真入】	大阪朝日新聞(熊本版)	1936(S.11). 5. 20?	3-27
295	887	童心が生み出した救癩の聖土、ペート号は呼びかく	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 5. 22	3-27
296	890	下村海南博士、岡山愛生園へ	大阪朝日新聞	1936(S.11). 5. 25	3-28
297	892	“遍路のコンビ”愛生園へ、救癩精神を通じて無言の知己廿年、下村博士と光田園長【写真入】／十坪住宅四棟の地鎮祭に参列、愛知県方面委員	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 5. 28	3-28

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
298	897	“無学者の誤解が日米親善の邪魔”著書を通じ故国へ呼びかける親日米宣教師久振に帰国	大阪朝日新聞	1936(S.11). 5. 29?	3-29
299	901	総合宗教建築に新様式を拓く、愛生園が信仰の典型美を誇る、鐘楼と納骨堂完成【写真入】	大阪朝日新聞	1936(S.11). 6. 1	3-30
300	905	院長を無視して癩病院移転を公表、身延山に又問題の種	東京朝日新聞(山梨版)	1936(S.11). 6. 11	3-30
301	906	“台湾の癩”座談会、本社台北支局が後援、十六日夜台北朝日寮で	大阪朝日新聞(台湾版)	1936(S.11). 6. 9	3-30
302	909	全国一斉に癩予防週間、来る廿五日から	大阪朝日新聞(鳥取版)	1936(S.11). 6. 9	3-30
303	914	沖縄の癩の座談会	東京朝日新聞	1935(S.10). 9. 14	3-31
304	918	業病に泣く同胞を見を挺して救はん、尊き救世主二人	東京朝日新聞(府下版)	1935(S.10). 9. 18	3-31
305	920	“沖縄県の癩の座談会”、十三日東京で	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 9. 15	3-31
306	926	余りの有難さに患者一同感涙、畏し皇太后宮の御仁慈	東京朝日新聞(青森版)	1935(S.10). 10. 12	3-32
307	932	御仁慈畏し“恵の鐘”名も光ヶ丘に完成の日にちかく、愛生園に喜び満つ	大阪朝日新聞	1935(S.10). 11. 8	3-33
308	936	日本癩医学会、あすから阪大で	大阪朝日新聞	1935(S.10). 11. 15	3-33
309	941	皇太后陛下、全国の癩病院に重ねて御仁慈、畏し御手許金下賜	東京朝日新聞	1935(S.10). 11. 12	3-33
310	944	けふ最後の交渉、長島療養所の候補地	「??朝日」	1935(S.10). ??.	3-34
311	946	沖縄から永久に癩を隔離、各方面の救ひの手集まり患者小屋も焼払ふ	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 10. 9	3-34
312	947	楽生院の五周年祝賀	大阪朝日新聞(台湾版)	1935(S.10). 10. 17?	3-34
313	953	“御恵の鐘”鳴る、けふ愛生園の撞初式【写真入】	大阪朝日新聞	1935(S.10). 11. 21	3-35
314	954	土木予算を主に三千万円の復活、内務省議で要求決定 *「衛生局関係」に「国立癩療養所拡張費」あり	東京朝日新聞	1935(S.10). 11. 21	3-35
315	955	“御恵の鐘”鳴る、けふ愛生園の撞初式	大阪朝日新聞	1935(S.10). 11. 21	3-35
316	956	沖縄保養院の復活実現へ邁進、綱島警察部長急遽東上して知事と共に猛運動	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 11. 21	3-35
317	958	哀れ・孤島に淋し悲歌!“藻の花”人生の嘆き、切々の情感を詠む、大島療養所より発行	大阪朝日新聞(香川版)	1935(S.10). 11. 24	3-35
318	960	燃える救癩の念、重症患者を沖縄から鹿児島へ、林文雄博士の英断	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1935(S.10). 12. 9	3-36
319	961	まづ仮病棟を建設、支障のため移転のおくれた岡山県長島療養所	大阪朝日新聞	1935(S.10). 12. 14	3-36
320	963	この父にこの兵士、富岡村不二農園に咲いた“軍国日本”の誇り	東京朝日新聞(静岡版)	1935(S.10). 12. 17	3-36
321	965	新しい家の住心地、裳掛村長島の漁業者、療養所建築で移住	大阪朝日新聞(岡山版)	1935(S.10). 12. 25	3-36
322	969	戦慄の患者に堺市湊校の恐慌、母親から癩の告白	大阪朝日新聞	1936(S.11). 1. 10	3-36
323	972	時代の気を吸ふ清新な社会事業を、“少壮有為”をすぐって生れた「五二会」の活動期待さる	大阪朝日新聞	1936(S.11). 1. 28	4-1
324	977	猛毒も使ひやう、青酸を癩の薬に	東京朝日新聞	1936(S.11). 2. 9	4-1
325	978	問題の猛毒、青酸は癩の薬(近藤龍)	大阪朝日新聞	1936(S.11). 2. 9	4-1
326	981	川端康成:「いのち」の文学	大阪朝日新聞	1936(S.11). 2. 18	4-2
327	982	川端康成:最初の「癩」文学、北條民雄氏の「いのちの初夜」	大阪朝日新聞	1936(S.11). 2. 19	4-3
328	983	三年目の光明、長島に移る“外島療養所”、愈よ明装の大工事【建設図あり】	大阪朝日新聞	1936(S.11). 3. 12	4-3
329	995	癩療養所建設地鎮祭、長島木尾湾で	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 4. 9	4-4
330	996	花の京に恐慌、流れ込んだ癩患者群	大阪朝日新聞	1936(S.11). 4. 18	4-4
331	998	沖縄癩相談所の設置計画、全患者を救護	大阪朝日新聞(鹿児島沖縄版)	1936(S.11). 4. 19	4-4

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
332	1002	レブラ群再び襲来、今度は久世橋下手で天幕、手を焼く衛生当局	大阪朝日新聞(京都版)	1936(S.11). 4. 28	4-5
333	1003	常闇に住む人々へ光のT・Rを発見、“廃人”が北満の野に活躍、中條北部保養院長の偉功/多年の経験で私は確信す、近く学界に研究を報告、T・Rを語る中條博士	東京朝日新聞(青森版)	1936(S.11). 4. 28	4-6
334	1005	厄介なる哉、レブラ群、移動戦術で対抗	大阪朝日新聞(京都版)	1936(S.11). 5. 2	4-6
335	1006	癩予防費を審議、大阪府参事会	東京朝日新聞	1936(S.11). 5. 9	4-6
336	1008	十坪住宅一棟、愛生園に増設	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 5. 8	4-6
337	1013	局面俄かに好転、愛生園の紛糾愈よ打開へ/熊本でも一揉め、回春病院患者デモる、慰撫で鎮静	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 25	4-7
338	1015	ハンストの裏と表、細君が握りしめた職員貸出金、暗い愛生園から朗話二つ/警備を縮小、解決も近い愛生園	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 8. 25	4-7
339	1025	盆踊りの福山に又もレブラ患者、巡査も手がかぬ	大阪朝日新聞(広島版)	1936(S.11). 9. 3	4-8
340	1026	自治案の決定は遂に直接交渉か、燻る愛生園騒動	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 28	4-8
341	1028	自治か家族主義?救癩事業の十字路、四十年にわたる論戦超える、光田、村田両氏の友愛/“自治”について、患者側と懇談	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 28	4-9
342	1031	半月の憂悶解け、鳴響く手打の鐘、自治問題は改めて直接交渉へ、愛生園事件円満に終幕/光田園長談/奥村内務省理事官談	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 29	4-9
343	1032	感謝合掌して社会に応へん、癩患者の声明	大阪朝日新聞(香川版)	1936(S.11). 9. 2	4-9
344	1033	県当局へ白紙一任、けふ入園者大会で決定、大詰の愛生園事件	大阪朝日新聞	1936(S.11). 8. 29	4-9
345	1040	愛生園長から真相を聴く、日本MTLが	東京朝日新聞	1936(S.11). 9. 9	4-10
346	1041	救癩へ本腰であれ、愛生園事件を契機に再検討、二五会などの救癩座談会	大阪朝日新聞	1936(S.11). 9. 5	4-11
347	1042	自治か家族主義か、来月に繰り上げの癩療養所長会議で根本的建直し策を決定	大阪朝日新聞	1936(S.11). 9. 9	4-11
348	1043	皇太后陛下へ献上、癩療養所の十六ミリを	東京朝日新聞(群馬版)	1936(S.11). 9. 11	4-11
349	1045	皇太后陛下の御仁愛、研究御奨励に感奮、“医学奇蹟”生る、北部保養院で不治二名全快、徴兵検査に合格す【写真入】	東京朝日新聞	1936(S.11). 9. 7	4-11
350	1047	殉教廿五年、生まれぬ人達の相談相手、楠氏に最高の荣誉 *楠豊吉	東京朝日新聞(静岡版)	1936(S.11). 10. 28?23	4-11
351	1052	愛生園、患者総意の自治制案成る、園当局と交渉の運び	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S.11). 10. 13	4-12
352	1053	人生の闇を追放する、中條博士の偉功に歓びと感謝の雨、愈々癩学会に成果を発表、その後のT・R物語【写真入】	東京朝日新聞(青森版)	1936(S.11). 9. 22	4-12
353	1056	カンカン帽送別会【写真入】	東京朝日新聞	1936(S.11). 9. 29	4-13
354	1058	草津温泉の効頭、レブラ青年全治、めでたく入営、この快い話に力を得た湯ノ澤部落では自由療養所を計画	「東京朝日(群馬版)」	1936(S.11). 10. 13	4-13
355	1064	府県立を国営に、救癩座談会の意見	大阪朝日新聞	1936(S.11). 10. 22	4-13
356	1072	愛ぞ輝やく、“山陽高女寮”贈呈式、岡山愛生園で挙る	大阪朝日新聞	1936(S.11). 10. 25	4-14
357	1073	“放火”が消える迄、のこるは癩院生活自治制度の欠陥、潜む捜査陣の苦心	東京朝日新聞(青森版)	1936(S.11). 10. 25	4-14
358	1078	患者側譲歩し、“自助会”を承認、愛生園騒動漸く解決	大阪朝日新聞	1936(S.11). 11. 7	4-15
359	1079	十日はめぐみの日、癩は遺伝ではない、伝染を防ぐため、十銭献金で患者住宅の建設、関西MTLで大運動	大阪朝日新聞	1936(S.11). 11. 7	4-15
360	1081	皇太后陛下の御仁慈、癩医療に御下賜金、光栄の聖バルナバ医院	東京朝日新聞(群馬版)	1936(S.11). 11. 11	4-15
361	1086	御下賜の楓もすくすく伸びて、御恵みの森の感謝	東京朝日新聞(静岡版)	1936(S.11). 11. 12	4-16
362	1091	癩救療賜金伝達式、督府正庁で	大阪朝日新聞(台湾版)	1936(S.11). 11. 13	4-16
363	1094	皇太后陛下の御仁慈、御恵の家など、きのふ落成式挙る、大島療養所に沸く感激【写真入】	大阪朝日新聞(香川版)	1936(S.11). 11. 11	4-16

No.	全No.	記事題目(見出し)	紙名(地方名)	発行年月日	備考
364	1095	愛生園に自治制、明年一月一日から六部門に、あす・自助会の発会式	大阪朝日新聞	1936(S. 11). 11. 19	4-17
365	1096	愛生園、“自助会”発会式、遂にお流れ、修正案運用の説明に不満、患者大会で強硬意見	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S. 11). 11. 21	4-17
366	1098	「愛生園」に自治会誕生	「??朝日」	1936(S. 11). 11. 24?	4-17
367	1103	愛生園に“鳥取寮”、県癩予防協会を組織し、知事が陣頭に寄附募集、衛生浄化に乗出す	大阪朝日新聞(鳥取版)	1936(S. 11). 11. 25	4-17
368	1114	役員決まる、愛生園自治会	大阪朝日新聞	1936(S. 11). 12. 2	4-18
369	1115	沖繩の新保養院、明春に着工、懸案の救癩問題解決	大阪朝日新聞(鹿児島沖繩版)	1936(S. 11). 12. 2	4-18
370	1116	患者代表と会見始る、愛生園事件	大阪朝日新聞	1936(S. 11). 11. 3	4-18
371	1123	国立癩療養所事務打合せ会	大阪朝日新聞	1936(S. 11). 11?. 19	4-18
372	1125	宗教法制定問題	東京朝日新聞	1936(S. 11)?. 7. 4	4-19
373	1127	国立癩療養所実現の運動	大阪朝日新聞(鹿児島沖繩版)	1933(S. 8). 8. 21	補-1
374	1128	癩患者は困る、高槻に反対の叫び、京大化学研究所病院新設に地元民の対策協議	大阪朝日新聞(府下版)	1933(S. 8). 3. 9	補-1
375	1132	県下の癩患者二百五六十名、徹底浄化へ	大阪朝日新聞(鳥取版)	1937(S. 12). 1. 21	補-2
376	1134	愛生園解決へ、患者の要求に対し、最後の妥協案成る、あす患者代表と会見	大阪朝日新聞(岡山版)	1936(S. 11). 11. 1	補-2
377	1139	愛生園鳥取寮建設費を郵送	大阪朝日新聞(鳥取版)	1937(S. 12). 3. 19	補-3
378	1142	山分け五円を貰って、老社長さん朗らか、愛生園へ寄附の残りを全従業員に分つ	大阪朝日新聞	1936(S. 11). 12. 10	補-3
379	1145	愛生園の鳥取寮、いよいよ三月ごろから着工、県当局今後の方針	大阪朝日新聞(鳥取版)	1937(S. 12). 1. 12	補-4
380	1148	レプラを悲観、自殺を企つ	大阪朝日新聞(大分版)	1936(S. 11). 12. 24	補-5
381	1149	形勢また暗転! 患者側、三項の復活を要求、纏れる愛生園の自治制案	大阪朝日新聞	1936(S. 11). 11. 6	補-5
382	1151	戸別的に患者を再調査、県癩予防協会	大阪朝日新聞(鳥取版)	1937(S. 12). 1. 13	補-5
383	1152	湯ノ澤を“自由村”に、県で委員会設け研究	東京朝日新聞(群馬版)	1936(S. 11). 12. 23	補-5
384	1158	癩予防協会へ寄附申出で、知事の令息清土君から	大阪朝日新聞(鳥取版)	1937(S. 12). 1. 31	補-5
385	1159	(社説) 新社会施設の社会性	大阪朝日新聞	1937(S. 12). 1. 5	補-6
386	1160	『癩』研究の恩人、故小林博士の胸像、あす大島療養所で除幕式	大阪朝日新聞(香川版)	1937(S. 12). 3. 16	補-6

(付記) 本目録は、平成 27～29 年度科研費補助金(課題番号 15K03164 研究代表者: 和田謙一郎)による成果の一部である。